

令和 年 月 日

徳島県知事 後藤 田 正 純 殿

所在地

名称

氏名

指定年月日 年 月 日

## 覚醒剤<sup>施用機関</sup><sub>研究者</sub>の報告

覚醒剤取締法第30条の規定により別紙のと  
おり報告します。

## 覚醒剤施用機関の覚醒剤施用数量等報告書（令和 年分）

所在地

名 称

品 名	期 初 所有数量	譲受数量	施用数量	施用交付 数 量	廃棄数量	そ の 他	期 末 所有数量	備 考
塩酸フェニル メチルアン プロパン末								
同 錠								
同 注								
塩酸フェニル アンプロ パン末								
同 錠								
同 注								

### 記載上の注意

- 1 「期初所有数量」欄には、前年の12月1日現在の所有数量を、前年報告の期末所有数量と照合のうえ記載すること。
- 2 記載数量の単位は、末はg（小数点以下第4位を四捨五入のこと。又倍散は末に換算）、錠剤は錠、注射液は本により記載すること。
- 3 「その他」の欄には、盗取、滅失、所在不明等についての数量を記載すること。
- 4 「期末所有数量」欄は、報告年の11月30日現在の所有数量を記載すること。
- 5 「廃棄数量」（破損による廃棄を含む。）、「その他」の欄に該当がある場合は、備考欄（件数が多いときは別紙）にその事由及び数量を記載すること。
- 6 2部提出すること。